



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>



令和6年2月29日

3月号

横浜市立日野南小学校

校長室ランチを通して感じたこと

校長 川田 由紀



また春がめぐってきました。1年経つのが本当に早く感じられます。1～5年生の今年度の登校日数は、残りあと16日、6年生は13日です。どの学年も、自信をもって次の学年に進めるように、まとめの段階に入っています。

卒業式を前に、6年生一人ひとりと話す機会を持ちたいと思い、昨年度から校長室ランチ会を開いています。一日に4～7名程の6年生と一緒に校長室で給食を食べながら、お話しします。最初に最近頑張っていることを聞き、そのあとはサイコロトークです。

頑張っていることでは、「お金を貯めるのを頑張っています。」とか、「中学校に行くので、勉強を頑張っています。」など、一人ひとり様々です。そんな中で、とても感激したことがありました。頑張ったこと何かな…と思いつかない友だちに、「字がとってもきれいだから、丁寧に字を書くことじゃない。」とか、「前より手を挙げているから、発表頑張っているよ。」など、相手の頑張っていることを、周りの子どもたちがすぐに声を掛けていたことです。6年間一緒に過ごした仲間の成長や良いところを、お互い感じているのだなと嬉しくなりました。

サイコロトークでは、何が出るか大盛り上がりです。特に面白いのは、「ひみつ」が出た時です。子どもたちは興味津々です。だいたい黒歴史を話してくれるのですが、そんな昔の失敗談を恥ずかしながら話し、そして温かい笑いが巻き起こる、そんなオープンで温かい関係性を築けていることが素晴らしいと思います。また「なやみ」が出た時は、周りの子どもたちが、悩みの解決方法をアドバイスします。「妹と喧嘩したときの関係修復の仕方に悩んでいる。」という話に、「分かる～」と長男、長女が大きくなずいていたのには笑ってしまいました。「大好きなおやつを一緒に食べれば平気だよ。」「何事もなかったようにしているのが一番！」など、いろいろな視点から助言が飛び交い、私の方が回答に感心してしまいました。

とにかく、どのグループも男女関係なく仲が良く話が盛り上がり、あっという間に20分が経ってしまいます。ランチ会では、授業中とは違う姿を垣間見ることができ、私にとっては、6年生一人ひとりの新たな一面を知ることができ、本当に楽しく貴重な時間となっています。子どもたちは、授業中の顔、子ども同士の中で見せる顔、そして家庭で見せる顔など、いろいろな顔があり、そのどれもが、その子らしさなのだなと改めて思いました。

もうすぐ、羽ばたきの時です。どの子も、「みんな大事な ONE PIECE！」今まで学んだことに自信をもち、それぞれの個性を大事に、これからも進んでいってほしいです。

今年度も、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。人と関わることを大事に、失敗を恐れずチャレンジしていく姿勢を育ててきました。チャレンジは、温かい土壌があって初めてやってみようという気持ちになれます。そんな温かい風土を作ってくださいっている皆様に、心より感謝申し上げます。



6年生作のカウントダウンカレンダー